

端子部品の製造技術を 多様な分野・製品に展開

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- 試作可
小ロット
- 量産対応



本社外観

業務内容 端子部品の 国内外で一貫生産

電源コード用連続圧着等端子、電線端子自動組み込み加工機、太陽光発電用の配電機器などを製造販売する。当初、同社ではバラ端子を主力に事業展開を行ってきたが、顧客からの要望にこたえるうち、端子製造工程やめっき工程の可能な自動機を開発し、製品化へと至った。

本社では主に電線端子自動組み込み加工機を設計、平成2年に設立した滋賀工場（滋賀県東近江市）では連続端子プラグの生産を行っている。また、海外においても平成13年に中国（広東省）、平成28年にはラオスに工場を開設するなど、国内外で一貫生産体制を敷く。

強み 多様な電源コード用端子の 生産ノウハウを継承

電源コード用端子を製造するメーカーは国内でも数えるほどしかなく、切断面がなく後工程不要な同社の電源コード用端子は、その製作技術を強みに顧客ニーズを取り込んできた。

平成10年に発売した太陽光発電用の配電機器は、現在では全体売上高の70%〜80%を占めるまでに成長。平成12年には、風雨に強い太陽光発電コネクタ、出力用端子ボックスの特許も取得し、以降、樹脂や板金製の接続箱などの開発を続けている。

設立以来55年間培ってきたノウハウを継承し、太陽光発電ユニットの需要増加にこたえ、現在の新たな製品開発へと生かしている。

海外展開 海外拠点の開設と 需要開拓

現在同社では、滋賀県のほか、中国と

ラオスに工場を構える。設計開発部門や品質部門は本社に配置し、滋賀工場では14名、中国工場では250名、ラオス工場では30〜40名が製造に従事する。

平成28年に設立したラオス工場では、組立などの後工程が主だが、顧客からのコストダウンの要望に応じ、製造工程も中国工場から一部移行する。木谷健一郎社長は「3〜5年間で主軸工場にしたい」という考えだ。海外工場から北米、欧州、中国、インドなどへ供給する体制も整える。近く海外営業拠点の開設も目指し、太陽光発電の需要が伸びる国や地域の需要開拓を検討する。

今後の展望 工程管理で、 省力化、高品質を実現

納入先の信頼を得るため、適切な材料の選定および製品の小型化や加工コストの低減に取り組む。生産拠点を中国や東南アジアに置くが、海外製造品は二重検査して品質を安定させている。

治具管理検査や、朝礼での連絡会議で問題点を共有して不良対応策を図るなど、品質管理も徹底している。さらに、営業生産本部、工場間で社内システムを活用し納期を二元的に管理。今後は、設計部隊を海外工場にも設置する。機械導入を通して工程を数値管理し、省力化を進めながら高品質を維持する。



自動コネクタ組立装置



掃除機ケーブル自動組立機

当社の歴史



大正7年に、船舶ソケットの製造販売を始め、設立後は大手家電メーカー向けにコンセントプラグの生産を開始しました。当初は大阪市に本社を構えていましたが、近隣に住宅が増え、大阪府枚方市へ工場を移転。現在は滋賀県の工場でプレス工程、枚方市に本社機能を置き、海外工場も設置しました。

代表取締役 **木谷 健一郎**さん

<http://www.kitanidenki.co.jp/>

主な事業内容
電気機器具製造、
太陽光発電用部品製造

主な取引先(納入先)
太陽光関連部品メーカー、
電線メーカー、総合商社

●住所 〒573-0102
枚方市
長尾家具町1-13-3
●TEL 072-855-1492
●FAX 072-850-7655
●創業 大正7年10月
●設立 昭和38年12月
●資本金 4,000万円
●従業員 73名